

評価報告概要表

全体を通して(※このホームの優れている点、独自に工夫している点など)	
ホームは市内から吉野公園を通り過ぎ寺山公園に向かう途中に位置し、周りの環境は自然が残され、大名竹、たらの芽、つわ蒔、菜の花等の山菜が採れ、又広い畑、季節の野菜、桜、栗の木等あり、自然の宝庫といった空気の良い環境である。鉄筋2階建てのホームは全体が紫と薄黄色のツートンカラーで目立つ建物であり、入居者が迷わず帰れるように、独自の工夫がなされている。ホーム内からは桜島山に昇る朝日や、一日中、山を照らす光の変化を眺められる素晴らしいロケーションである。危険を回避する為ガス器具を不使用。庭は平面で砂利が敷かれて広く、散歩し易く、又見守りがし易いようにしてある。職員は明るくチームワークが取れている。	
分野	特記事項(※優先順位の高い要改善点について)
I	運営理念については管理者から職員までよく理解されて、理念が日々の生活にも活かされている。しかし地域に対して運営理念の啓発が消極的である。グループホームは地域での生活が拠点であることを理解され、発行されているホーム便りを活用して、ホームの広報活動に取り組んでいただき、地域の人にも運営理念が理解されるよう取り組んで戴きたい。
II	要改善は特になし(現状の維持、そして更なる充実が期待される)
生活空間づくり	
III	ケアサービスに於いてケアマネジメント、介護の実行、日常生活行為の支援は良くなされている。生活支援について入居者の金銭管理については、金銭によるケアの大切さをよく理解して頂き、個人の力量に応じた金銭管理の支援を望む。医療・健康維持においては、入居者の早期退院に向けた取り組みを促し、又緊急時の救急救命に就いては全員が定期的に研修され質の均一が望まれる。
ケアサービス	
IV	内部の運営体制は各自のグループホームの習熟度、体験の段階に応じた研修計画を継続受講されることで職員全員質の向上を図られたい。又日常生活する洗剤、シャンプー等も使用を誤る場合の危険を想定し、保管管理について検討されたい。ホームと家族の交流は良くなされているが、地域との交流にも積極的に働きかけ日頃から気軽に入り出出来る関係を望みたい。
運営体制	

分野・領域	項目数	「できている」項目数	
		外部評価	
I 運営理念			
① 運営理念	4項目	3	
II 生活空間づくり			
② 家庭的な生活環境づくり	4項目	4	
③ 心身の状態に合わせた生活空間づくり	6項目	6	
III ケアサービス			
④ ケアマネジメント	7項目	7	
⑤ 介護の基本の実行	8項目	8	
⑥ 日常生活行為の支援	10項目	10	
⑦ 生活支援	2項目	1	
⑧ 医療・健康支援	9項目	7	
⑨ 地域生活	1項目	1	
⑩ 家族との交流支援	1項目	1	
IV 運営体制			
⑪ 内部の運営体制	10項目	8	
⑫ 情報・相談・苦情	2項目	2	
⑬ ホームと家族との交流	3項目	3	
⑭ ホームと地域との交流	4項目	0	